

目次

機械への愛着……………西松三好…1

北陸ずい道の近況と機械設備およびその特徴……………小竹秀雄…2

長距離または大容量の運搬工法の実例(その2)

Ⅲ. 奥只見工事用資材の輸送について……………鈴木勇・村上省…9

Ⅳ. 東京電力横須賀火力発電所用地造成における
掘削, 埋立工事……………白井紋三・石川良直…17

建設省において本年度採用した新機種について……………桑垣悦夫・加藤四朗…23

建設省における新D7(17A)ブルドーザの実績……………佐々木元・福田浩左右…29

土岩に対する金属の摩耗について(その1)
(金属摩耗の諸要素)……………大蝶堅…36

「誌上アースムービング・コンファレンス」(No. 2)

土工工事——運土作業の基本事項……………石川正夫…41

建設機械の整備管理についての一考察(その4)……………平野寅吉…45

走行抵抗についての2,3の問題……………大橋秀夫…51

ニューズ……………55

行事一覧・編集後記……………(長尾・小竹)…56

◇表紙写真説明◇

日特金属工業株式会社製

NTK-12B型アングルドーザ

日特金属工業KKでは先にトルクコンバータ付20tブルドーザを製作していたが、今般新たにエンジンの改良と共に23tブルNTK-12B型を製作開始した。従来の12A型ブルはDL12A4型(ルーツ式過給機付185HP)機関をとる載しており高速疾走を目的とし、一般排土作業と共にキャリオールけん引・プッシャー作業に優秀な機能を発揮しているが、本機は岩盤掘削等の過酷なブル作業を主たる目的とした大型ブルドーザでDL12A5型(ターボ式過給機付210HP)機関をとる載し、出力も増強され、重土建作業に活躍している。

仕様概要

全装備重量	2,300 kg	最大けん引力	37,800 kg
全長	5,930 mm	最小回転半径	3,000 mm
全幅	4,060 mm	機	
全高	(排気管上端まで) 3,390 mm	型	DL12A5 過給機付ディーゼル機関
履板幅	560 mm	連続定格出力	195 PS (1,700 rpm)
接地長	2,680 mm	1時間定格出力	230 PS (1,700 rpm)
接地圧	0.76 kg/cm ²	燃料消費率	195 gr/PS/h
走行速度	前進 低速 0~6.0 km/h	燃料	軽油
	前進 高速 0~12.5 km/h	始動方式	始動機開式
	後進 0~9.5 km/h	変速機	6要素 3段 1相型トルクコンバータ
けん引出力	133 PS		

本機の詳細については本誌 55 頁ニューズ欄を参照願います。